

令和3（2021）年4月市長定例記者会見の概要と質疑応答

令和3（2021）年4月7日（水曜日）
午前11時～午後12時1分
柏崎市役所多目的室

1 発表事項

(1) 新型コロナワクチン接種についてお知らせします

（主管：健康推進課）

4月19日から、高齢者施設などの入所者および従業員の接種を始めます。

4月23日から、75歳以上の方へ接種券の発送を始めます。65歳以上75歳未満の方は、5月10日から接種券の発送を始めます。接種券が届いた日から接種の予約ができます。接種券と一緒に予診票やワクチン接種のお知らせリーフレットも同封します。

接種は集団接種で、会場は市役所旧庁舎です。費用は無料です。同封するリーフレットは65歳以上の方を対象としたもので、予約方法が書いてあります。予約は、電話、市ホームページ、LINEの予約サイトから行うことができます。コールセンターは、新たに雇用して人数を増やし、皆さんをお待たせすることがないように準備しています。高齢者が中心なので電話が多くなると思いますが、ご家族の方々などにお手伝いいただき、ホームページやLINEで予約していただくとよりスムーズに行くのではないかと考えています。

リーフレットには接種日程、接種可能日、時間帯なども書いてあります。ワクチン接種当日は、接種券、予診票、本人確認書類をお持ちください。

今お話ししたのは65歳以上の方々の接種スケジュールです。コールセンターは、3月25日から開設しています。

今市内で高齢者施設に入っている高齢者は約1,300人、そこで働いている方が約1,300人いらっしゃいます。高齢者施設に入っていない高齢者は約2万7千人いらっしゃいます。つまり、今回接種の対象になる65歳以上の方々は3万人弱いらっしゃいます。16歳以上64歳未満で基礎疾患のある方は約5千人、一般の方が約3万6千人いらっしゃいます。高齢者の方々の2回の接種はおそらく8月までかかると考えています。できれば、7月から基礎疾患をお持ちの高齢者以外の方の接種を始め、一般の方の接種は8月後半から行いたいと思っています。

このスケジュールは、国から県を通してワクチンが順調に入ってくるのが前提となります。

(2) 96.5%の人が「米山プリンセス」をおいしいと回答―試食アンケートの結果と手提げ袋を制作

(主管：農政課)

「米山プリンセス」の味に関しては非常に自信を持っています。しかし、まだ知名度が高まっていないため、今回、約2万世帯に調査を行い、その中から、お米を週に3日以上食べる、普段食べるお米を自分で選んでいる、普段1キログラム当たり800円以上のお米を買っている200世帯を抽出しました。その200世帯に「米山プリンセス」を食べていただき、アンケートに答えていただきました。

結果は、おいしいと回答した方が96.5パーセント、いつも食べている高価格米よりおいしいと回答した方が76パーセント、購入したいという方が74パーセントでした。おいしさを評価していただき非常に喜んでいきます。

東京日本橋の「ブリッジにいがた」で「米山プリンセス」を販売していただいているので、過日、売れ筋を聞いてきました。店内では新潟県内のコシヒカリが3つ並び「米山プリンセス」が一番高かったですが「米山プリンセス」から売れていき、リピーターの方もいらっしゃるということで、非常に心強く思いました。

知名度を上げるために、先般の東京出張では、できたばかりの手提げ袋を持って行きました。非常に素晴らしいデザインになっています。

(3) 全国でも珍しいコミュニティFMで活動する地域おこし協力隊を募集

(主管：市民活動支援課)

現在、柏崎市内では4名の地域おこし協力隊員が活動しています。若い方が中心で、その地域にはない発想で地域を盛り上げていただいているのは非常にありがたく、地域の方にも喜ばれています。今回、特定の地域で活動するコミュニティ型ではなく、地域全体をカバーするミッション型地域おこし協力隊を、柏崎コミュニティ放送の社員として登用することを前提に募集します。

FMピッカラには災害時の災害情報などを出していただき、行政にとっても非常に大切な情報発信ツールとなっています。そういった意味で、公的な意味も持つFMピッカラの社員を地域おこし協力隊として募集し、多様な人材登用を図りたいと思っています。募集概要は資料

のとおりです。放送局への勤務ということで、適正もありますので、必ず現地体験をしていただいた上で6月27日に試験を行い、8月から採用になります。

(4) 柏崎フロンティアパークで株式会社不二産業が事業拡張

(主管：ものづくり振興課)

今回、株式会社不二産業から3区画を購入していただくことになりました。すでに2区画ご利用いただいておりますが、エコや環境事業での躍進で事業を拡大することになりました。

柏崎フロンティアパークは残り1区画ですが、この1区画も現在商談中です。今年前半にはこの商談もまとまるのではないかと期待しています。

(5) 柏崎市地域エネルギー会社（仮称）事業計画書（案）の概要

(主管：電源エネルギー戦略室)

皆さんにはいろいろな機会で説明していますので、詳しくはご説明しませんが、スケジュールなどを少し説明したいと思います。

出資金は1億円を目指して、私共は5千万円を予定しています。また、他の方からも出資を募り、今年度会社を設立します。令和4年度からは、卸市場から電力を調達し、市内の公共施設に電力の供給を始め、自社電源からの調達を考え始めます。

経済産業省資源エネルギー庁とこの半年間話し合い、早ければ今年度中に新たな補助金を作っていただきます。この補助金は、原子力発電所立地点にある自治体で、再生可能エネルギーに力を入れていこうという企業を応援するものです。私共の20億円の基金も加えながら、令和4年度以降は提携の再生可能エネルギー発電事業者から電力を調達していきたいと考えています。

水素利活用に関しても、INPEXが地元の自治体の地権者の方と、今のところ順調に話し合いを進めているという報告を受けています。

(6) 高柳町事務所の窓口業務を市役所からリモートでサポート

(主管：高柳町事務所)

高柳町事務所は3年前の事業峻別により、おととしから正職員を10人から5人に半減させました。令和3年度からはさらに1人減らし、正職員はこの3年で半分以下にしましたが、今のところ全く問題なく機能しています。

4月1日から高柳町事務所の位置付けを出張所にしましたので、高柳町地域の方だけでなく、隣接する南鯖石などの方々も含めて、市内全域の方々が高柳町事務所で、例えば住民票などを取ることができるようになりました。

高柳町事務所の正職員一人一人が対応できない場合もありますので、リモートで市役所本庁とつなぎ、画面を見ながら本庁職員が高柳町事務所のお客さんに説明し、高柳町事務所の職員が隣で手続きなどをフォローさせていただきます。高柳町事務所をお使いいただく、特に高齢者の方にとって分かりやすい、優しい窓口になると考えています。高柳町事務所で住民票や印鑑証明を今までどおり、さらに分かりやすく発行し、その場で受け取ることができます。

石黒地区やさらに山間部の方でマイナンバーカードをお持ちの方には、電話をしていただければお届けするというお届けサービスも昨年からはじめています。昨年は一度も利用がなかったという報告が上がっていますが、お届けサービスも継続しています。

(7) 今年度のえんま市、ぎおん柏崎まつりは中止します

(主管：商業観光課)

新型コロナウイルス感染症の第4波とも思われるような動きもあります。ぎおん柏崎まつりは20万人、えんま市は15、6万人の人出が期待される柏崎の大きなお祭りです。しかし、残念ながら不特定多数の方が集まるお祭りです。

ワクチン接種が医療関係者を中心に始まったばかりで、64歳以下の一般の方々には8月から始められるのではないかという見込みの中で、不特定多数の方々が何万人も集まるイベントは中止すると決めさせていただきました。

商工会議所を中心に私共も入っているまつり協賛会でも、それぞれ参加団体にアンケートを取らせていただいたと承知していますが、通常どおりにやると答えた方は少なかったと承知しています。参加団体、企業などの意向も含めて、今年度はえんま市、ぎおん柏崎まつりの中止を余儀なくされました。

2 質疑応答

◎新型コロナウイルスワクチン接種に関する質問

記者：8月後半から始まる一般の接種は個別接種と集団接種のどちらを想定しているか。

市長：基本的には集団接種を考えています。

記者：ワクチン接種が柏崎市でも医療従事者を除いて始まるが、それに対する考えを伺いたい。また、効率的な接種が求められると思うが、その辺りはどのように考えているか。

市長：義務ではなく希望する方にということで、私共も副反応という言葉も含めながら案内しています。一般的には、国や日本医師会からもワクチン接種を推奨していると承知していますので、義務ではないですが、このワクチン接種を進めていきたいと考えています。

経済活動やそれぞれの地域の活動も含めて、新型コロナウイルスの影響を非常に強く受けてこの1年数カ月きています。これを何としても早く収束させなければならないと思っておりますが、特効薬がまだ開発されていない以上、このワクチンに期待するところです。私共も初めての経験ですので、若干齟齬^{そご}も出てくるかもしれませんが、昨年末から福祉保健部の98人態勢でタスクフォースを作り上げ、コールセンターもすでに開設して準備をしておりますので、予約も含めてなるべくスムーズな対応をさせていただきたいと考えています。そして多くの方々にこのワクチンの意味をご理解いただけるよう広報していきたいと思っております。

◎えんま市、ぎおん柏崎まつりの中止に関する質問

記者：海の大花火大会は非常に大きなイベントの位置付けだと思うが、2年続けての中止について市長としての率直な感想を伺いたい。

市長：市長という職をいただいたにも関わらず、2年続けて大花火大会が開催できない、そして私たちの誇りとする、自慢とする花火大会を全国や世界の方々に発信することができないというのは、非常に残念です。市民の皆さんも私と同じような気持ちではないかと思いま

す。今の状況を含めて、我慢せざるを得ないと自分にも言い聞かせますし、市民の皆さんにもご理解いただきたいと思っています。

記者：えんま市の中止について、去年は秋に延期という話もあったと思う。今年は延期とせずに中止としたのは、ワクチン接種が進まないことなどが理由か。

市長：不特定多数が集まるイベントですし、えんま市はまさに密をある意味で売りにしているところもあります。例えば9月に延期したとすると、露天商の皆さんの予定もありますので、遅くとも7月にはやるかやらないかを決めなければなりません。7月ごろに決めることができるかといえば、ワクチン接種の状況がまだ見込めない時期ですので、残念ながら今年は中止という決断をせざるを得ないというところですよ。

記者：大花火大会も同じ理由で延期とはしないということか。

市長：はい。もし延期など先送りにした場合に、予約がもう始まる時期ですので、予約の問題や市外からお越しいただく方は旅行代理店なども含めた関係もありますので、今年は中止をはっきりさせたということです。

記者：大花火大会について、去年のこの時期の会見では延期もしくは中止と話されたと思うが、この時期に中止を決断した理由をもう一度伺いたい。

市長：去年の今頃は、延期というかたちでなんとか花火大会を行えるのではないかとという期待も持っていました。新型コロナウイルス感染症に対して、えんま市もなんとか方法を考えれば行えるのではないかとという認識でした。

おとし、えんま市は最終日に大風が原因で始まって以来の中止をしました。去年は何としてでもえんま市やぎおんまつりをしたいということで、何か手段を考えればできるのではないかと考えていたのですが、コロナウイルスの力の大きさを思い知りました。

しかし、今年はコロナウイルスの力の大きさが身に染みんでいますし、ワクチンの状況がまだ確固としたものになっていないことを考えれば、今の段階で中止を決めた方が迷惑を掛ける方の数が少なくて済むのではないかと考えたところです。

記者：2年間続けて大花火大会が中止になるということで、柏崎の花火を忘れられないようにするためのPRなどはどのように考えているか。

市長：私の心持ちとしては、来年の花火は3倍分ぐらい上げたいという気持ちです。ぎおん柏崎まつりの海の大花火大会は海の花火大会として日本一だと自負していますので、来年は多くの方々にお越しいただいて、いつもにも増した規模の海の大花火大会を見たいということ今年1年かけて皆さんに話し続けたいと思っています。

えんま市も同様ですが、残念なのは2年続けてえんま市に行けないお子さんがいて、柏崎を離れるという方も出てきます。来年はさらに予算を増やし趣向を凝らしたえんま市にして、お子さんを中心に、やっぱりえんま市は楽しいと思われるようなスペシャルえんま市を考えたいと思っています。

記者：最近は事前登録制や県民限定のイベントなども増えているが、そういった検討はされたのか。

市長：はっきり申し上げると、検討するまでもなく無理です。花火大会は有料観覧席だけにしても、必ず土手やいろいろなところで見られる方がいらっしゃるので、限定しての不特定多数での花火大会は開催できません。同じようにえんま市も検討するまでもなく無理だと思っています。

◎高柳町事務所の位置付けが出張所になったことに関する質問

記者：高柳町事務所を出張所の位置付けにしたと話されたが、西山町事務所はどうか。

市長：西山町事務所も出張所の位置付けになりました。

◎原子力規制庁から出された是正措置命令への東京電力の対応に関する質問

記者：今日の午前中に、先日、原子力規制庁が出した核燃料の移動を禁じるという措置命令

に対して弁明しないという回答をしたという情報が入った。今日の午後2時半から新潟市内で社長が会見を開くとのこと。これに当たり、市長は以前、東京電力に弁明を求めていたと思うが、弁明しないとしたことへの所感を伺いたい。

市長：ある意味ショックです。弁明しないというのは規制庁の指摘が全て正しいということですので、事案そのものは別として、私としては東京電力が行った事案後の対応に関しては弁明してもいい部分があるのではないかと思います。例えば、規制庁に報告をしましたが、規制庁から規制委員会に報告されなかったということもありました。核施設防護規定に関しても、報告はしたということでした。東京電力の認識と、規制庁や規制委員会の認識が違っていただと今まで考えていたので、事実関係を正確に規制庁や規制委員会にあらためて報告して、こういう点はこうで、こういう点はこうだった、そして規制庁や規制委員会の対応はこうだったということを含めて、自分たちの行ってきたことに対してきちんと説明、規制庁の言葉で言えば弁明をしてもらいたかったと思います。

記者：これを踏まえて、今後東京電力に求めるようなことはあるか。

市長：社長自ら若手職員なども含めて集会の中で意見交換を始めていますし、私も社長から決意や実践も聞いています。そういったことを積み重ねながら、何よりも大切なのは、東京電力の社員、特に若い社員一人一人に、過去に東京電力が社会、柏崎市、日本、国民に対してどのようなことを行ってきたのか、過去の不祥事を全て伝えていくことだろうと思います。意識のなさ、至らなさが今回の事案を引き起こした原因だと私は考えていますので、いかに原子力施設を守っていくか、担っていくか、ましてこれから再稼働させようという方向を持っている会社なので、社員一人一人がどのような責任を持っているのかを自覚していただきたい。自覚していただくために、過去どれだけこの会社が社会や柏崎市民を裏切ってきたかをもう一度検証し、特に若い社員に伝えたいと思います。

記者：核燃料の移動禁止の是正措置命令が近く確定することになるが、受け止めに伺いたい。

市長：この移動禁止で、号機間移動もできないということになり、あらゆることが止まることとなります。それは措置として仕方ないことだろうと思います。2千時間／人かかる検査

が必要という話でしたが、1人で行えば2千時間かかるということで、例えば200人で行えばという話になります。私は規制庁職員との意見交換の中で、この東京電力の問題に関しての検査にかなりの態勢を組むと聞いています。更田委員長が2千時間／人の検査は1年以上かかるという話をされましたが、態勢によっては1年かからないで終わるのではないかと考えています。一体どのぐらいの態勢でどのぐらい時間がかかるのかというスケジュール感を示していただければありがたいと思っています。

◎オリンピックの事前合宿に関する質問

記者：オリンピックの事前合宿が長岡や加茂でさまざまな理由から中止になっているが、柏崎市の現状を伺いたい。

市長：水球で、セルビアとモンテネグロを中心に事前合宿が考えられていますが、私が承知している限りでは、今のところ両国から事前合宿の中止や延期、もしくは期間を短くするという連絡はいただいていません。

記者：本来であれば行われるであろうセレモニーや交流などが難しくなっていると思うが、このような現状をどのように考えるか。

市長：もちろん歓迎すべきものではありませんが、オリンピックが今の段階では開催される方向で進んでいますので、私共としては協力させていただきたいと思います。新型コロナウイルスに関する制限もありますが、お越しいただく方にはできる限りのおもてなしをさせていただきたいと思います。普通の状況から考えると非常に限定されたものにならざるを得ないと思いますし、お越しいただく方も限定的になると思いますが、その辺りはご理解いただけるものと承知しています。

**記者：セルビアとモンテネグロの両国から、いつからいつまでどのぐらいの人数で来るとい
う具体的な話はもう来ているのか。**

教育長：確認します。

◎高柳じよんのび村の村長募集に関する質問

記者：高柳のじよんのび村の村長を先月 26 日まで募集してこられたかと思うが、応募状況などを伺いたい。

市長：15 人からご応募いただきました。これから選考基準に則り選考させていただく予定です。

記者：15 人は市内の方か。

市長：市内、県内の方が多かったです。

◎東京 2020 オリンピックの聖火リレーに関する質問

記者：6 月 4 日に聖火リレーが柏崎を走ると思うが、現時点で聖火リレーは予定どおり実施されるのか。

市長：今のところ、6 月 4 日の聖火リレーは予定どおり行うつもりです。有名人が柏崎を走るといことは予定していませんので、たくさんの方が密になることはないだろうと承知しています。いずれにしても、密になることも防ぎながら聖火リレーは予定どおり行いたいと思っています。